

令和2年3月21日

加盟団体長 各位

日本卓球協会  
専務理事 星野一朗

## 「新型コロナウイルス感染予防」のための大会開催の可否について

日頃は、日本卓球協会の各種事業にご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。新年度を間近に控え、加盟団体の皆様には、予選会を含めて様々な大会開催を予定していることと存じます。

さて、3月19日の夜に新型コロナウイルス感染症の政府専門家会議からの提言が発表されました。これによりますと、国内感染者は都市部を中心に増えており「今後、感染源が分からない患者が継続的に増加し全国に拡大すれば、どこかの地域を発端として爆発的な感染拡大（オーバーシュート）を伴う大規模流行につながりかねない」としています。2月下旬から始まったこれまでの措置（大規模イベントの自粛、テレワーク等の通勤緩和、学校の休校、北海道の緊急事態宣言発令等）が、感染症の拡散防止に一定程度の効果を発揮してきたものの、感染者数が地域によっては増加しており、引き続き予断を許さない状況です。

他方、3月の中旬ごろからは、海外からの帰国者による発症例が各地で散見されており、政府からは3月18日、外国からの入国拒否を含む制限等のさらなる拡大や、日本人帰国者に対して2週間程度の自宅待機を要請するとの方針も示されました。

このように、爆発的な感染拡大（オーバーシュート）を伴う大規模流行を防ぐためには、人の移動と集会に関しては、今しばらくの間は注意深くある必要があります。

そこで上記の状況に鑑み、大会開催については以下の通りとします。

- 1 日本卓球協会が主催する全国大会については5月末まで中止（延期）致します。  
5月中旬予定の全国公認レフェリー・上級審判員研修会、5月下旬予定の「東アジアホープス大会国内選考会兼 HNT 選考会」についても延期とします。その後につきましても、大会の2ヶ月前（60日前）までに予定通りに開催するか否かを決定し、ご連絡致します。
- 2 都道府県加盟団体の皆様には予選会の開催にて会場の確保など大変なご努力を頂いておりますが、全国大会の申込期限（最大で大会60日前）までに予選会が開催できない場合には、各県の事情に応じた方法で選手選考を行い、お申し込み頂くことを可と致します（一部大会要項通り）。

尚、加盟団体の地域での大会（日本卓球協会が主催する全国大会の予選等）開催の可否判断にあたっては、以下をご確認ください。

- 1) 地域の自治体の方針
- 2) 地域の学校の休校措置、部活動の許可等の有無
- 3) 地域での感染者の発生状況

このような地域ごとの情報を入手した上で、大会開催期日の2週間前程度を目安に、一定のご判断をいただきますようご計画ください。社会的な責任をご考慮頂き、そして何よりも会員の安心・安全を第一にご判断いただきたく思います。

今回の措置については、あくまでも現状までの判断によるものであり、今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては、新たな変更もあることをご含みおきください。

皆様におかれましては、引き続き、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、お一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの感染症対策に努めていただくようお願い申し上げます。

以上